

「額 取 山」

参加者 24 名（生徒 14 名）

快晴の中いわきを出発し予定通り御霊櫃峠に着いた。すでに駐車場は、満車に近い状態であった。風が強いといわれていたが、それほど風はなかった。

準備運動を終え、それぞれ班に分かれ登山を開始した。直ぐの登りは、ガレ場で登りにくいが、山一面に山つつじが咲いてきれいであった。

御霊櫃峠から小ピークを超えると岩がゴツゴツしている黒岩山に着いた。猪苗代湖が目の前に見えここで一休みした。風がとても心地よかった。

雑木林の中を通り抜け両脇に咲いている山つつじをみながら、さらに急坂を登ると最高峰の大將旗山にたどり着いた。黒岩山よりさらにスケールアップした眺望が見ることが出来た。写真を撮ったり飲食したりした。ここは源義家が軍旗を高く揚げた山と言われていた。それがわかるような気がした。少しの休憩をとり頂上を目指した。

ここから額取山へ続く稜線は、中通りと会津を分ける見晴らしの良い尾根道で、わずかなアップダウンを繰り返し心地よい風を受けながら、稜線散歩を楽しむことが出来た。

頂上に着くと、安積平野、猪苗代、磐梯山、安達太良山、雪をかぶった飯豊連峰、吾妻連峰、二岐山、かすかに見えた筑波山、阿武隈の山々が見え 360 度の大展望であった。ここで昼食をとりゆっくり休むことが出来た。

お腹を満たし心を残し下山開始。急な下り坂を何度も繰り返し磐梯熱海登山口へ向かった。下っていると後ろの班の方から「そちらでいいのですか」との声がした。確認すると滝登山口の方向で少しずれた。

雑木林や杉林を通り林道に出て目的の磐梯熱海登山口に着いた。それほど風も無くお天気に恵まれ、素晴らしい眺望や山野草を見ることが出来、快適な山行であった。

全員が下山するまで待ち、ユラックス熱海で汗を流しほぼ定刻通り、合同庁舎に到着した。お疲れ様でした。有難うございました。



いわき合同庁舎（7：00）⇒ 磐越三和 IC⇒郡山 IC⇒御霊櫃峠（9：30）
大将旗山（11：35）⇒額取山頂（12：10）⇒磐梯熱海登山口
ユラックス熱海（15：40）⇒合同庁舎（17：15）

（文責 上遠野）

一切経山（1945m）・樋沼周遊と名画鑑賞 2018.5.11

秋葉、下山田、太、山縣、菊池、芳賀（登山教室）



魔女の瞳を見に行こう！と集まったのが6名で出発。

磐梯熱海で高速を降り、中ノ沢温泉を通りスカイラインへと入る。2日前の雪が路肩の残る。鳥小平は雪に埋まっている、浄土平の駐車場は有料の看板があるので手前の駐車場から歩くことにする。上を見ると雪があるがアイゼンは置いていくことにする。

登山道は雪解け水でぬれている。姥ヶ原への分岐を過ぎ、階段が出てくるころ雪溪に覆われてきたが乗っ越すと雪は無くなり、木道歩きとなる。酸ヶ平避難小屋の分岐から小屋に向かいトイレ休憩をし出発、一切経の斜面にとりつきガレ場になってくると風が強くなってきた。

高校生の一段とすれ違う頃にはかなり風が強くなってきて体感温度が下がってきた。



山頂につき五色沼（魔女の瞳）は雪をまとい、真っ青に輝いていた。が、風邪が強く帽子は飛ばされ、手も冷たい。



方法の体で下山し避難小屋で昼食。下に来ると蛙も収まった。

樋沼を一周し帰ることとする。

<コースタイム>いわき 7:00-浄土平
9:00-姥ヶ原分岐 9:16-酸ヶ平小屋 9:56-10:09-一切経山 10:46~ 10:51-
酸ヶ平小屋 11:25~11:52-姥ヶ原 12:25-駐車場 13:26

帰路は福島美術館で、ミロやモネの名画を鑑賞してきました。

文責：下山田 写真：太 清光

大滝根山（おおたきねさん 1192m）

2018. 5.24（木）

秋葉、志尾崎、芳賀（受講生）、柏村

朝7時、水石トンネル駐車場集合。

カシ米尔で地図を印刷し、山岳会発行の「いわき市とその周辺の山々」のページをコピーして持って行きました。ただいま勉強中のスマホのジオグラフィカも作動させます。

石ボッケ登山口で支度を整えてジオグラフィカのポイントを打ったら 689mと表示されました。

最初は杉林。針葉樹の香りと木漏れ日が気持ち良い。秋葉さんが花の特徴や見分け方など説明してくださいます。

オレンジ色の山ツツジ、綺麗です。

タコブナ 枝が沢山分かれていてタコの足のようだからでしょうか？

石ボッケ到着。ぐるっと裏側に回って石に登ります。360度見渡せ、山の説明をしていただきました。万太郎山の風力発電のプロペラが山に刺さる棘のように見えます。ここで一休み。



少しの藪漕ぎはありましたが、山ツツジやアカヤシオ、シロヤシオと新緑のトンネルの中を気持ちよく歩きます。

「帰りはこっちの道を行くから」という天狗のつぼ山への分岐、写真は撮ったのですがジオグラフィカのポイントを打つのを忘れました。これが帰りに響きました。



ペラペラ石。大きくて上が平らな石です。全員で記念撮影。
志尾崎さんがお抹茶をたててくださいました。お菓子は水まんじゅうとコーヒーゼリー。
「どうしてペラペラ石って名前だと思う？ペラペラおしゃべりしたくなるから？」
ここから先は急に展望が開けて送電線の下に出ました。



峯霊神社のシロヤシオとアカヤシオが満開です。三角点は防衛省の基地の中で立ち入り禁止なのでここを頂上とするようです。基地のフェンス沿いに進み、ぼんてん岩の梯子を登ってみました。標高1176m少し戻って神社送電線の下の方で昼食。

下山で天狗のつぼ山への分岐点に向かう途中、道がえぐれていたのでちょっと尾根を歩いたら分岐点を通り越してしまったようで玉石まで下ってしまい、また少し登り返しました。分岐点では必ずジオグラフィカのポイント打つこと！と経験。



藪漕ぎがあると言われていたので覚悟はしていましたが。。ものすごい藪漕ぎでした。背丈より高い熊笹で前が見えない。道はありません。先頭の秋葉さんが所々ついている色褪せたオレンジ色のテープを探しながら降りていきますが、山ツツジのオレンジ色と似ているので紛らわしい。
ストックはザックに付け、「藪漕ぎは楽しいんだからね～！両手で熊笹を掴んで！」と教えていただきました。熊笹の上はとても滑りやすく、転びそうに

なった時にぐっと踏ん張ったら左の腿の前の筋肉がピキッ！と攣ってしまいました。

前との間が5mも開くと、もうどっちなんだかわかりません。「どっちですか～！？」「待ってください～！」と何十回叫んだことでしょう。この藪漕ぎはいつまで？どこまで続くの！？ ジオグラフィカの音声案内の高度が少しずつ下がっていくのを励みに頑張りました。

びょうぶ石。ここで目印の赤テープが見つからなくなり全員であちこち探しやっと見つけ、また藪漕ぎ開始。天狗のつぼ山で一休み。大きな平たい石が斜めになっていて滑り台のようでした。やっと藪漕ぎ終了。農家の庭先のような所に出て、車のある石ポッケ登山口まで歩きました。

下山は約2時間でしたがそのうちの半分くらいは藪漕ぎだったのではないのでしょうか？とても良い経験させていただきました。

今度どこかの山で藪漕ぎすることがあったら、きっとこの大滝根山を思い出すでしょう。

田村の針湯荘で入浴。300円。65歳以上は100円。

つるつるすべすべのお湯でした。

8：20 石ポッケ登山口→9：20 タコブナ→9：30 石ポッケ→10：10 天狗のつぼ山分岐→10：30 ペラペラ石→11：30 峯霊神社→11：55～昼食→ 12：30 下山開始→13：40 びょうぶ石→14：30 下山



聖ヶ岩クライミング

5月26日(土) 7:00 出発

聖ヶ岩は、白河山岳会の方々が中心となりクライミングルート開拓された岩です。高さ約 80m の日当たりが良く乾いたコンディションの良い岩でした。午前中、『クライミング』。④凹角チャレンジ (5.9) ③てんとう虫 (5.9) にトップロープを張りクライミング準備。秋葉さんの指導の下で支点構築、フィックスロープ設置をおこないました。

凹角チャレンジにトップロープを張ろうとしたら、『蛇』登場！いつまでも逃げなかったので蹴って移動してもらいました。もう、登場しなくていいですよ。

懸垂下降、クライミングと全員クリアーし昼食。



午後は、『滑落者の救助訓練』、ビジターセンター横で実施。テンションが掛かった状態からの引き上げシステム構築は、実践さながらのシステム構築です。滑落からの引き上げの良い訓練が出来ました。



夜は、バンガロータイプBに宿泊。皆さんが持ち寄った酒の肴と渋谷さんの揚げたて天ぷらで大宴会となりました。山の話で深夜まで話が終わらず、二日酔いの方も??でした。



5月27日（日） 8時半スタート

『クライミング』②飛行機雲 5.10C、③頂上参り 5.8 にトップロープを張りクライミング開始。

②の飛行機雲は高さが約70m有り登りごたえ十分でした。上部付近に差し掛かると腕がプルプル鳴いていました。秋葉さん、富岡さんは、上手なものです。同じルートを登っているとは、思えないスピードで登りきりました。流石に女性陣には、難しかったようです。



クライミング練習を積んでまた、トライしたい岩でした。

③頂上参りはロープが足らず、途中に支点を取り登りました。こちらは女性陣も頑張っていました。

た。

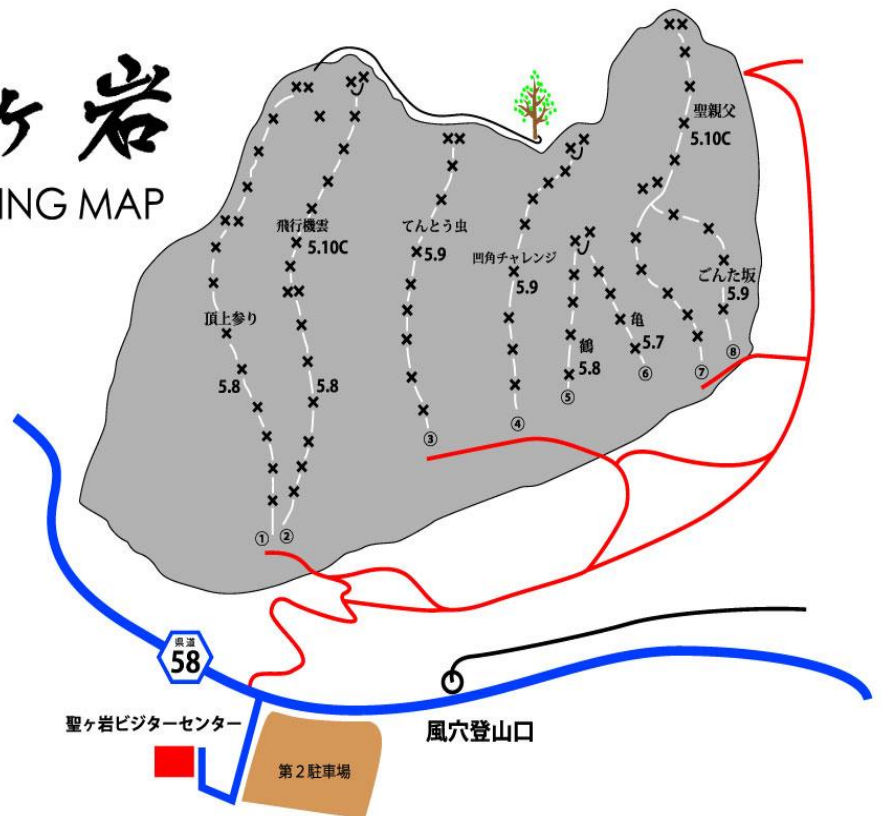
以上、帰りは、ラーメン屋に立ち寄りお昼を取りました。

『聖ヶ岩』は、よく整備されている為、初心者の菅野でも楽しめる良い岩でした。

長さも有りいろんな登り方も出来るので、初心者からベテランの方も楽しめると思います。また挑戦したいです。

次は、マルチピッチの練習もしたいですね。

聖ヶ岩 CLIMBING MAP



大人女子の休日

～魔女の瞳でティータイムを～

2018年6月3日

斎藤（富）・渡辺（恵）・西・志尾崎・渋谷



気持ちの良い初夏がやって参りました。

「日頃の家事・育児を忘れお山でお茶でもしませんか？」

そんな素敵な言葉から始まったとしたら、なんて素敵な大人女子なのかしら！と思う事でしょう。

さて現実。「え～！平日は無理～！でも行きたい！どこの日曜なら行ける？！」とセール会場のように慌ただしく結成された石城山岳会大人女子部。そんな大人女子を黙らせる一切経山の魔女の瞳は本当の魔女に思える。

6:00 水石トンネルを出発。お喋り・朝のモグモグタイム。7:50 浄土平ビジターセンター着。支度を済ませ8:30 登山届けをポストに入れ登山開始。

素晴らしい天気の中、ご満悦に足取りが軽い私たち。可愛い花を見つける度に歓声が上がりスマホでパシャパシャ撮影(*^_^*) チングルマ・イワカガミ・ミツバオウレン・マイズルソウ・ムラサキヤシオなどを見ながら酸ヶ平避難小屋を過ぎた所で雪渓が現れました。この日はとても暑く、この雪渓から吹く風がとても気持ち良かったぁ～！西さん提供のミニトマトがとても美味しかったです！幸せな水分補給・元気補給ができました(^o^)ありがとうございます！



何の虫なのか・・・とてもたくさん飛んでいて、鼻や口に入ってしまうほど(;>)タンパクまで補給しちゃいそうでした。(食べてませ

んよっ！) 振り返ると吾妻小富士が綺麗に見えてホックリ。今日はいいいお天気だったので登山者が非常に多く「ザ・観光地！」という印象が強いと思いながら、お待ちかねの「魔女の瞳」が目の前に！！

(なぜこんなに綺麗な色をしているのだろう。。。)
と、しばしボーゼンとたたずむ。日頃の忙しさや藪漕ぎを忘れボー~~~~っとしまくる。。

「おやつだよ～」と呼ばれた気がした所で我に返り、本日メインのティータイムをすることにした(^_^) 凄い事になってます。これは幸せ過ぎます！



キュウイ・サクラambo・ミルクプリン
(コニャック添え)・抹茶ようかん・ブドウ・チーズケーキ・メロン・アンズ・チョコレート・山芋、大根、キュウリのわさび漬け！
カロリーなんて気にしない！

今回の目的達成！『魔女の瞳とティータイム』
食べているはずなのに会話も弾む～♪

あっという間に平らげ、10:50 下山開始。
鎌沼経由で 12:30 レストハウス着。
お昼ご飯はレストハウス。

（,,,は、入らないかも。。）とみなさん思ったこと
でしょうね。しかしここは観光地！スムーズに餌
が目の前に現れず、志尾崎さんがラーメンをお迎
えに行くほどお腹が減り、無事完食しました～。

浄土平ビジターセンターを出発し、中ノ沢温泉
「西村屋」にて入浴（¥500）温泉効果でお肌は
「トゥルン・トゥルン」です！！

温泉後は南が丘牧場でソフトクリームを頂きました。

17:00 水石トンネル着・解散。



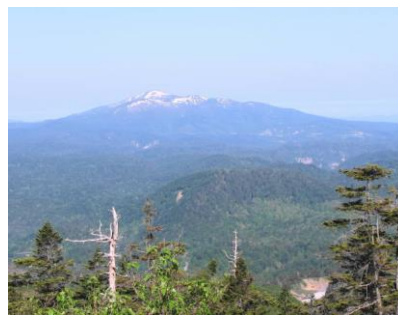
（文責・渋谷）

焼山 1366m

2018 年6月4日 秋葉信夫、下山田、渡辺敏夫

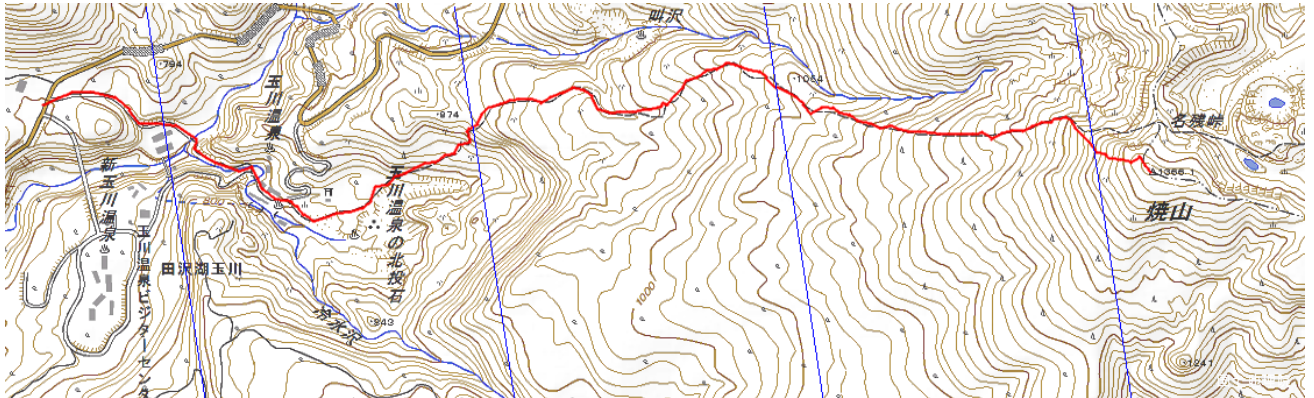
焼山は十和田八幡台国立公園の中で、最も火山活動が盛んな山である。がんの湯治で有名な玉川温泉から登ることにし、3日はビジターセンターを見学、新玉川温泉で入浴、第2駐車場で車中泊とする。多くの車が車中泊のため駐車している。中には一ヶ月近くも、車中泊で湯治している人もいるらしい。久しぶりに放射能の心配の無いコシアブラを採ったので茹でて天気祭りをを行う。

4日、駐車場から酸性水中和処理施設を経て、もうもうと噴煙を上げている玉川温泉の中を通り登山口に着く。いきなり階段の急登、ここでも地竹採りの人が多く入っている。尾根に出るとブナの林の広い路になる。水場で朝食とする。



残雪や倒木でやや歩きにくくなるが路はハッキリしている。タムシバが盛り、ムラサキヤシオも和ませてくれる。樹林帯を抜けるといきなり視界が開ける。一昨日登った森吉山が絶景である。

頂上手前は中々の急登であるが八幡平をはじめ展望は素晴らしかった。



登り 駐車場 5:20→玉川温泉 5:35→登山口 6:00→水場 6:40→尾根 7:40→頂上 8:05

下り 頂上 8:20→水場 9:20→温泉 10:10~35→駐車場 (文責：秋葉)

翁峠(山) 1075m (日本タンポポに会える山)

2018年6月5日 下山田、秋葉、渡辺(敏)

秋田から南下し、本日最終日。東北百名山に挙げられている山形県の翁(峠)山、新庄に単身赴任で着いた時より気になっていた山だ。

宿泊地となった「尾花沢道の駅」を出発。登山口までカーナビに入らず苦労すると思っていたが「翁山を愛する会」設置の大きな看板が我々をスムーズに導いてくれた。のは、道路だけで会って工事中の橋を通過すると細い林道となった。すれ違う幅はもちろん、待避所も全然ない。それだけではなく、両サイドからも、上部からも木々が覆いかぶさってくる。太い幹や小枝が遠慮なく車体をこする。レンタカーの10万円では済まない。案の定、無線のアンテナが無残にも折れてプラプラぶら下がっている。。。。

気を取り直して出発。すぐに花が現われ、傷心を打ち消してくれた。



急な登山道に呼吸を乱しながら神社のあるピークにようやく到着。記念撮影を終わり、一服しようとした矢先、キジ場を探していたZさんから

「おーい、こっちが頂上だぞー」

の声、慌ててザックを方に変え向かうと、そこには三角点の山頂があった。早とちりにも参った。

改めて記念撮影、休憩をとり、尾根を下り 1 周して下ることにした。



レンゲツツジ



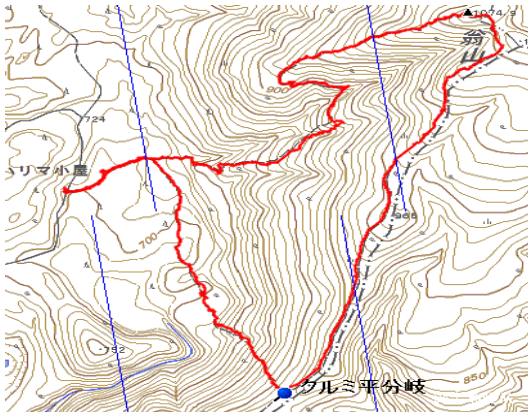
日本タンポポ



タニウツギ



ノアザミ



登り上部は林の中だったが、尾根は日当たりも良く、まるで庭園の中を散歩しているようであった。日本タンポポの群落、サラサドウタンツツジのトンネルと！！

<コースタイム>

ハリマ小屋 5:47→山頂神社 7:09→山頂 7:15~7:33→クルミ平分岐 8:28→ハリマ小屋 9:09→入浴後、上山で冷中(冷たいラーメン、冷やし中華とは違う)の大盛を食し帰路に就いた。(文責・下山田)

森吉山 1454m

秋葉、下山田、渡辺(敏)

6月1日(金)朝いわきを発ち、阿仁町を通して3:30過ぎに森吉山野生鳥獣センターに着いた。そこで、親子キャンプ場を紹介されてそこで泊まることにした。ここは、森吉山の東側に広がるなだらかなブナ林が広がる丘陵地帯の素晴らしいキャンプ場で、利用申請するだけで無料で利用できる。今日がオープンの日である。ぜひまた利用してみたいところである。

6月2日(土)森吉山登山口から歩き出す。なだらかな登山道が続く。ヒバクラ岳への登りになると雪が多くあらわれる。基本的には夏道に沿って歩くが、夏道が雪に覆われているとルートが分からなくなる。ルートからそれると藪になり進めなくなるのでルートを確認しながら慎重に進む必要がある。ヒバクラ岳の脇を過ぎ最後の雪渓を詰めて森吉山の山頂に到着した。山頂からは周囲の山々を見渡せるはずであったが、天候は晴れで良い天気だがガスが出てきた。残念ながら周囲の山々は見えなかった。登山道のあちこちにクマの糞が見られ、登るときにはなかったものが下山時に見受けられた。このあたりはクマの生息数が多く、クマを見かけるのは珍しくはないとのこと。今年はこのあたり例年より積雪が多かったそうだ。したがって、予想していたよりも残雪が多い。穏やかな山容と快適なキャンプ場で楽しいひと時を過ごすことができた。



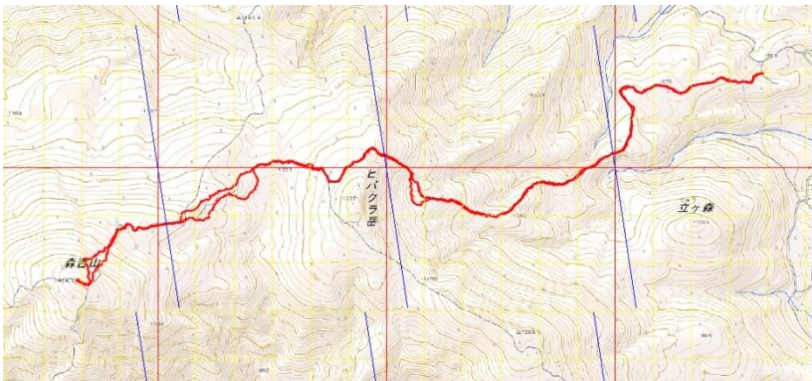
仙人平から森吉山を望む



コースタイム

森吉山登山口 5:42→割沢森コース分岐 8:09→森吉山山頂 9:19 9:46→割沢森コース分岐 10:35→登山口 12:05

文責 渡辺敏夫



森吉山 桃洞（トウド）沢

6月3日（日） 秋葉、下山田、渡辺（敏）

森吉山の東麓に広がるなだらかなブナ林の丘陵地帯にさらに魅力的な溪谷がある。「天国の散歩道」と言われる桃洞沢と赤水沢である。両者ともなだらかな岩盤のナメが延々と続く。沢登りのゴールデンルートだそうだ。今回はその下見として特に沢登りの準備をせず、長靴で入るところまで行くことにした。登山道沿いに、サンカヨウ、オオバキスミレ、エンレイソウなどいろいろな花が数多くみられる。秋葉さんに花の名前を教わりながら進む。樹木もブナのほかにいろいろな樹種がある。しばらく進むと赤水沢、桃洞沢の分岐に出会う。ここから桃洞沢沿いに進む。少し進むと沢の水際沿いにつけられた道を進み、桃洞の滝下に出る。先行した沢登りのグループが桃洞の滝を登っているところだった。今日はここまでとし、いずれ日を改めて桃洞沢と赤水沢の巡回沢廻行に挑戦することとした。帰りに山菜のコシアブラを採取でき、夜のおかずの一品となった。

コースタイム

森吉山野生鳥獣センター 5:41→赤水沢分岐 6:52 7:07→桃洞の滝 7:32 7:40→赤水沢分岐 8:07 8:22→野生鳥獣センター9:13

文責 渡辺敏夫



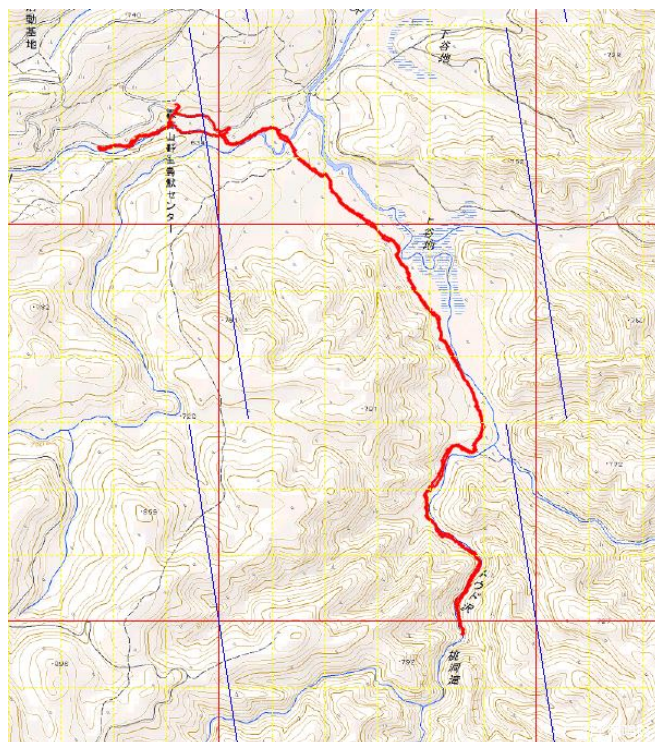
シラネアオイ



サンカヨウ



桃洞の滝前にて



旭岳 1835.2m

2018年6月9日 秋葉信夫、下山田

甲子の旭岳は登山道が無いと言われており、10年ほど前に下山田さんと一緒に覚悟して出かけたことがある。

一昨年、登山教室の縦走で通った時に、もう一度登りたいと思い出かけた。甲子トンネルの駐車場から歩きはじめ、甲子山に到着するとピラミダルな旭岳が目飛び込んでくる。一旦、坊主沼方面下ると今は廃道になっている旧登山との分岐になる。

この旧道に入る。倒木や藪がかかっている歩きにくく、登山道とは言えないが踏み跡はハッキリしている。歩く人が少ないのだろう前回より藪が濃くなっているような気がする。

ウラジロヨウラク、サラサドウダン、ベニサラサドウダン等ツツジのトンネルである。旧水飲み場跡を過ぎると傾斜が急になり、所々にトラロープも残っている。やがて藪が薄くなってくるが傾斜はますます急になり、ハクサン小桜やハクサン千鳥、ミヤマ大根草などが慰めてくれた。

三等三角点の頂上はシャクナゲが盛んで、昨年歩いたコースや観音山を望むことができる。



甲子山より旭



旧道との分



ハクサン小桜



ベニサラサドウダンツツ

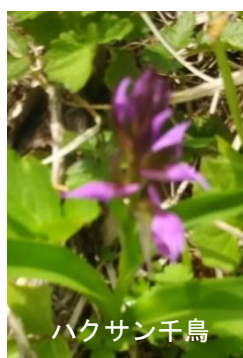


シャクナゲ

「花の屋」で昼食を摂り、本日開店した西郷村の直売所「まるごと西郷館」にまわり帰路につく。私は試しに、ワークマンの「滑らない靴（2,900 円）」で登ってみたが、中々のものである。

登り 甲子峠トンネル 7:30→甲子峠分岐

9:00→甲子山 9:15→坊主沼分岐 9:35→水場跡 9:45→頂上 11:05



ハクサン千鳥



下り 頂上 11:30→水場跡 12:20→
坊主沼分岐 12:30→甲子山 12:30→
トンネル

13:30

(文責：秋葉)



日光白根山登山（2578m）

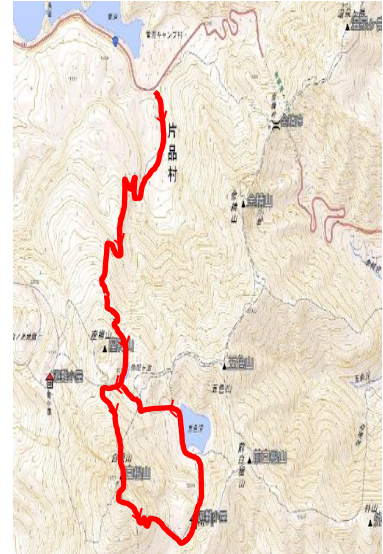
平成 30 年 6 月 9 日
山本、菅野

日光白根山は東日本の最高峰であり、これより高い山は中部地方まで行かないと無い。私はここ数年、年一回春先にこの山に登っている。

登山コース：菅沼駐車場 → 弥陀ヶ池 → 急登登り口 → 山頂 → 山小屋 → 五色沼 → 弥陀ヶ池 → 菅沼駐車場

朝 7 時水石トンネル駐車場を出発し、金精峠を抜け菅沼駐車場に着いたのは 10 時を過ぎていた。

登山準備をし登り始めて 1 時間半で弥陀ヶ池に着いた、私はこの池と五色沼の景色が大好きだ！



弥陀ヶ池を超え右側から山頂を目指す、ここが最も急登である、下山はしたくない所だ。登った高度で景色が変わる。心肺機能をフル活動し 1 時間弱で頂上に着いた。

小雨や曇りを予想していたが景色は良く見えた。この場所で中禅寺湖らしき湖を見たのは記憶に無い。



頂上を下り窪地で昼食にした、ここまでは登山を開始してから約 3 時間である。

昼食後、砂利道を山小屋方面に下山した。菅野氏は雪道は山行したが、緑の中は初めてだそうだ。

山小屋の前で雄鹿が草の根を食んでいた、ここ数年毎回鹿に合う。山小屋には泊りの登山者が夕食の準備をしていた、水場は五色沼の方に有るらしい。過去に 1 度泊まった事がある。

10 分位下山すると五色沼が現れた、ここでのんびりしたいと思う程私にはお気に入りの場所だ、水場は右の方にある。五色沼は緑が濃い、この沼を左に回り弥陀ヶ池まで登った。

弥陀ヶ池から菅沼駐車場までは下りで、午後 4 時前に着いた。



途中、日光スキー場のホテルで濃い温泉に入り帰路に着いた。台風の影響を全く感じさせない良い天気だった。

（文責：山本）